



上のグラフは、認知症カフェの運営者たちに、どんな人に効果が表れているかを聞いたものです。

これによると、認知症の本人、家族以上に、地域住民への効果が大きくなっています。

具体的には、地域住民の認知症への理解と、偏見の減少、ひとり暮らし高齢者への支援の場としての役割となっているようです。

認知症カフェは、認知症の人や家族、専門職、地域住民が気軽に集まり、なごやかに交流を楽しむところです。

認知症カフェの内容はさまざまで、

いろいろなカフェがありますが、その目的は同じです。

それは、認知症になっても暮らしやすい、認知症にやさしい地域をつくることです。

認知症カフェは「みんなのカフェ」です。

あなたも、ぜひお出かけください。

目次 CONTENTS

みんなのカフェ Interview
「エンディングノートを書く」ということ P 3 ~ 4

専門職ミニ講話

「薬を飲みやすくするには？」 P 5

杏林堂薬局 薬剤師 藤間一将さん

「良いねむりを心がけましょう」 P 6

精神科医師 石山淳一さん

江東区『認知症カフェ』MAP P 7 ~ 8

認知症カフェ訪問 P 9 ~ 10

順天堂東京江東高齢者医療センター「認知症カフェ」
 高齢者総合福祉センター「e-Cafe 東陽」

みんなのカフェ Vol.4

カフェ・トーク P 11

認知症カフェで3年間も皆勤ボランティア

シリーズ・ニッポン認知症カフェ探訪記 P 12

フォトジャーナリスト コスガ聡一さん

みんなの居場所 P 13

サロン「とまり木」運営
 「ハッピー・ハンド」

江東区・知っとく情報 P 14

「KOTOO 活き粋体操だよ！ 全員集合！」

ラナンキュラス
(和名)ハナキンボウゲ

八重咲きで豪華な姿が人気の花。
 色は、黄、白、ピンク、複色、紫、緑、オレンジ。
 開花期は3~5月。
 花言葉は「華やかな魅力」「とても魅力的」

